

I. 日 時：平成26年6月23日（月）午後5時00分～午後7時10分

II. 場 所：アルカディア市ヶ谷 私学会館 会議室（6F）

III. 参加者：向殿委員長、大原副委員長、東村委員、田辺委員、白崎委員、辻村委員、井上委員、
松本委員、細野委員、斎藤アドバイザー、青木アドバイザー、吉永アドバイザー、名原アドバイザー、
滝島アドバイザー（代理）、和田アドバイザー、井端事務局長、森下

IV. 資 料： 1. 平成25年「社会スタディの場」開結果の報告
2. 平成25年度「大学教員の企業現場研修」開催結果の報告
3. 平成26年度第2回「社会スタディの場」について（担当理事メモ）
4. 産学連携人事ニーズ交流会の見直しについて（担当理事メモ）
5. 社会スタディの場 優秀証の大学長への報告について

V. 検討内容

1. 平成25年度「社会スタディの場」優秀証発行者の所属大学への報告、Web掲載について

- ・ 第1回委員会の検討を踏まえ、平成25年度の「社会スタディの場」で優秀証を発行した学生については、所属大学の学長宛に連絡し、大学名と氏名をWeb上に掲載したことが事務局から報告された。
- ・ 成果報告書もWebに掲載してはどうかとの意見があったが、掲載した内容のコピーや今後のひな形のイメージになることを避けるため掲載しないことにした。
- ・ 報告書の評価を5名の委員が行ったが優秀賞の評価は基準を明確にして行うべきとの意見があり平成26年度からは評価基準を決めて委員評価することにした。
- ・ 優秀証の対象者については継続して志を持って学んでいるかを調査すること等も必要ではないか（検討課題）

2. 平成25年度「大学教員の企業現場研修」について

平成26年度は9月、2、3月で計4回の現場研修を企画しており、関西地区における開催要望に応えるため西日本電信電話株式会社と調整するも協力を得られなかったが、引き続きパナソニック株式会社なども検討していくことが報告された。

9月開催の富士通株式会社の開催計画が報告され了承された。

3. 平成26年度「社会スタディの場」の企画について

昨年は有識者の決定が遅れたため十分な周知、募集期間が取れなかったことから本年度は早めに参加有識者を決定し1ヶ月程度募集を早めることにした。

有識者は昨年協力いただいた東京大学須藤教授、富士通株式会社 西川氏、LINE株式会社 森川社長、に加えてNTTドコモ 栄藤氏、DeNa 南場氏、ドワンゴ夏野氏等を候補に調整することにした。

提供する話題は、ICTを活用して社会を変えていく、社会的な課題に対してどう立ち向かっていくのかを考える機会になるものとすることにした。

4. 産学連携人事ニーズ交流会の見直しについて（担当理事メモ）

産学連携人事ニーズ交流会の目的は大学側と企業側の人材育成の意識合わせであるが、情報系のみでなく幅広く進めていく時期がきており、文系、理系と分けず社会科学系など分野横断的な取り組みにしていく必要がある。

場合によっては情報系は分科会にするなど1年かけて検討し、実質平成27年度から新たな枠組みでスタートできるよう検討していくこととして。

高度情報通信人材育成支援センター（CeFIL）などとも情報交流し、文系分野などにも広げることを今後健闘していくことにした。

5. 次回委員会

平成26年11月17日（月）13:30～15:30とした